平成23年11月2日

各 位

上場会社名　ローム株式会社
代表者　取締役社長 澤村 諭
（コード番号　6963）
問合せ先責任者　取締役 経理本部長 佐々山 英一
（TEL　075-311-2121）

減損損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、減損損失の計上ならびに最近の業績動向を踏まえ、平成23年年5月10日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成24年3月期第2四半期（累計）連結業績予想数値の修正（平成23年4月1日～平成23年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	163,000	12,000	10,500	6,000	55.65
今回修正予想(B)	164,700	9,900	6,600	△2,100	△19.48
増減額(B-A)	1,700	△2,100	△3,900	△8,100	
増減率(%)	1.0	△17.5	△37.1	―	
（ご参考）前期第2四半期実績（平成23年3月期第2四半期）	181,355	23,366	17,447	9,862	90.10

修正の理由

1.減損損失の計上

当社は、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、2008 年にOKI セミコンダクタ株式会社（現ラピスセミコンダクタ株式会社）を買収した際に発生したのれんについて減損処理を行い、減損損失を計上することといたしました。

本件に伴い平成24 年3 月期第2 四半期連結累計期間において、特別損失として減損損失8,622 百万円を計上する見込みです。

2.業績予想の修正について

当第2 四半期連結累計期間におきましては、世界経済が厳しい状況となったことに加えて、想定を超える円高の進行など、経営環境は極めて不透明な状況が続いています。ロームグループでは利益面におきまして、円高による為替差損の影響や、のれんの減損損失等により、平成24 年3 月期第2 四半期累計期間の業績見通しを上記のとおり修正いたします。なお、通期の業績予想につきましては、現在見直し中であり、今後の受注見通し、またタイの洪水による影響などを考慮し、平成23 年11 月9 日の第2 四半期決算発表の際に改めて公表いたします。

＜業績等の予想に関する注意事項＞

この資料に記載されております業績等の予想数字につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上